



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東
 コード番号 4680 URL <https://www.round1.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 杉野 公彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 佐々江 慎二 TEL 06-6647-6600
 四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 2023年9月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	35,951	16.3	3,884	64.6	3,993	54.6	2,613	29.0
2023年3月期第1四半期	30,912	69.4	2,359	—	2,582	—	2,025	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 4,667百万円 (△7.9%) 2023年3月期第1四半期 5,069百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	9.59	9.58
2023年3月期第1四半期	7.07	7.07

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	172,156	58,244	33.7	215.27
2023年3月期	170,623	61,180	35.7	217.30

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 57,964百万円 2023年3月期 60,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.00	—	4.00	—
2024年3月期	2.50				
2024年3月期（予想）		2.50	2.50	2.50	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため2023年3月期の年間配当金につきましては単純合計ができないため表示しておりません。株式分割を考慮しない場合の2023年3月期の期末配当金は12円、年間配当金は24円、2024年3月期の年間配当予想は30円であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	73,420	8.8	9,090	31.2	8,810	23.8	6,000	14.5	21.39
通期	150,410	5.9	20,560	21.5	20,010	19.9	11,680	20.0	41.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	287,358,642株	2023年3月期	287,358,642株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	18,092,466株	2023年3月期	6,902,126株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	272,446,234株	2023年3月期1Q	286,354,754株

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価の上昇が景気を下押ししているものの、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限の緩和により個人消費が緩やかな回復基調を維持する等、堅調に推移いたしました。

他方、世界経済においても、金融政策等により先行き不透明な状況が続いているものの、引き続き個人消費は底堅く推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは日本において、引き続き一部店舗の「ギガクレーンゲームスタジアム」への改装を順次行いました。また、グローバルボーイズグループ「J01」出演のCM放映のほか、アニメコンテンツやアイドルグループ等とのコラボキャンペーンを積極的に実施する等、新規顧客層の開拓に努めました。

米国においては、1店舗あたり150台以上のクレーンゲーム機を設置する「Mega Crane Zone」への改装店舗数を増やす等、売上向上に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高35,951百万円（前年同四半期比16.3%増）、営業利益3,884百万円（前年同64.6%増）、経常利益3,993百万円（前年同54.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,613百万円（前年同29.0%増）となりました。

なお、当社が運営する屋内型複合レジャー施設は、お盆期間やお正月期間等長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で業績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(日本)

引き続き一部店舗の「ギガクレーンゲームスタジアム」への改装を順次行い、それに伴いクレーンゲームの景品を多種多様に取り揃えました。また、グローバルボーイズグループ「J01」出演のCM放映のほか、アニメコンテンツやアイドルグループ等とのコラボキャンペーンを積極的に実施する等、新規顧客層の開拓に努めました。

以上の結果、ボウリング収入は前年同四半期比11.8%増、アミューズメント収入は前年同10.1%増、カラオケ収入は前年同24.9%増、スポッチャ収入は前年同21.7%増となりました。

(米国)

1店舗あたり150台以上のクレーンゲーム機を設置する「Mega Crane Zone」への改装店舗数を増やし、それに伴いクレーンゲームの景品を多種多様に取り揃えたほか、新しいアミューズメント機器を積極的に導入する等、売上向上に努めました。

以上の結果、ボウリング収入は前年同四半期比5.2%増、アミューズメント収入は前年同21.1%増、カラオケ収入は前年同20.4%増、スポッチャ収入は前年同33.6%増となりました。

(その他)

その他セグメントにおいては、日本・米国以外の地域に出店準備を進めております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,533百万円増加の172,156百万円となりました。この要因は、現金及び預金が2,267百万円減少したこと等による流動資産の減少3,077百万円と、使用権資産（純額）が1,323百万円増加、その他有形固定資産（純額）が3,087百万円増加したこと等による固定資産の増加4,610百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,469百万円増加の113,912百万円となりました。この要因は、リース債務が1,146百万円増加、その他流動負債が2,027百万円減少したこと等による流動負債の減少662百万円、長期借入金が3,648百万円増加、リース債務が1,494百万円増加したこと等による固定負債の増加5,132百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,936百万円減少の58,244百万円となりました。この要因は、自己株式が6,500百万円増加、為替換算調整勘定が2,046百万円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益2,613百万円の計上等により利益剰余金が1,467百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は33.7%（前連結会計年度末は35.7%）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,106	26,838
売掛金	1,679	1,199
商品	429	428
貯蔵品	3,374	3,694
その他	4,149	3,500
流動資産合計	38,739	35,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	94,648	96,881
減価償却累計額	△52,459	△54,420
建物及び構築物(純額)	42,188	42,460
土地	5,712	5,712
リース資産	32,255	34,709
減価償却累計額	△14,610	△16,257
リース資産(純額)	17,644	18,451
使用権資産	31,635	33,053
減価償却累計額	△706	△801
使用権資産(純額)	30,929	32,252
その他	56,042	61,779
減価償却累計額	△35,978	△38,627
その他(純額)	20,063	23,151
有形固定資産合計	116,539	122,029
無形固定資産	763	750
投資その他の資産		
繰延税金資産	4,216	3,359
差入保証金	8,693	8,705
その他	1,672	1,650
投資その他の資産合計	14,581	13,714
固定資産合計	131,883	136,494
資産合計	170,623	172,156

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	394	285
短期借入金	800	800
1年内償還予定の社債	342	342
1年内返済予定の長期借入金	6,102	6,364
リース債務	14,599	15,746
未払法人税等	612	273
契約負債	2,488	2,670
リデンプションポイント引当金	1,849	2,071
その他	10,638	8,610
流動負債合計	37,828	37,165
固定負債		
社債	628	457
長期借入金	15,696	19,345
リース債務	44,789	46,283
資産除去債務	6,794	6,700
その他	3,705	3,959
固定負債合計	71,614	76,746
負債合計	109,442	113,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,326	25,326
資本剰余金	26,002	26,002
利益剰余金	7,506	8,973
自己株式	△3,503	△10,004
株主資本合計	55,331	50,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	12
繰延ヘッジ損益	△0	2
土地再評価差額金	△138	△138
為替換算調整勘定	5,742	7,788
その他の包括利益累計額合計	5,610	7,665
新株予約権	237	279
非支配株主持分	0	0
純資産合計	61,180	58,244
負債純資産合計	170,623	172,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	30,912	35,951
売上原価	27,488	30,808
売上総利益	3,424	5,142
販売費及び一般管理費	1,064	1,258
営業利益	2,359	3,884
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	10
補助金収入	129	—
為替差益	200	196
持分法による投資利益	47	31
その他	92	83
営業外収益合計	471	322
営業外費用		
支払利息	220	165
その他	27	47
営業外費用合計	248	212
経常利益	2,582	3,993
特別損失		
固定資産除却損	29	144
減損損失	—	63
特別損失合計	29	208
税金等調整前四半期純利益	2,553	3,785
法人税、住民税及び事業税	227	208
法人税等調整額	300	963
法人税等合計	527	1,171
四半期純利益	2,025	2,613
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,025	2,613

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,025	2,613
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,000	2,052
持分法適用会社に対する持分相当額	43	2
その他の包括利益合計	3,043	2,054
四半期包括利益	5,069	4,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,069	4,667
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年2月10日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結会計期間において自己株式11,190,300株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が6,500百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が10,004百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,555	11,201	30,756	156	30,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,555	11,201	30,756	156	30,912
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	1,074	1,823	2,897	△315	2,582

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国 (Round One Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社) を除く海外現地法人の事業活動を含んでおります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,150	13,460	35,610	340	35,951
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	22,150	13,460	35,610	340	35,951
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	2,557	1,649	4,207	△214	3,993

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国 (Round One Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社) を除く海外現地法人の事業活動を含んでおります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。